



「市民と野党」の共同の力で新しい政治の実現へ」を共通の理念にして、11月18日「泉州市民連合」が結成されました。呼びかけ団体は、「安保法制に反対する桃山大学有志の会」、「教え子を再び戦場に送るな」教職員OBの会@岸和田、「戦争法に反対する泉州地域法律家の会」、「戦争法に反対する阪南地域連絡会」、「泉州地域、学者・研究者の会（準備会）」、「泉州サウンドデモ」の

大阪18区19区での野党統一候補を実現しよう 泉州市民連合の発表

6団体です。また、結成集会に参加・発言された政党は、「民

進党」「社会民主党」「緑の党」「日本共産党」「自由党」の5政党です。

政党代表スピーチの後に来賓としてスピーチした「市民連合みえ」呼び

泉州市民連合結成アピール

～安全保障関連法（戦争法）を廃止し、憲法9条を守り、立憲主義の回復のち、くらし、平和を守る政治の実現のためきたるべき総選挙での野党共闘を実現・勝利させましょう～

1. 安倍内閣は、安全保障関連法（戦争法）を具体的に発動させようとしています。内乱戦状態にある南スーダンPKOで「駆けつけ警護」の新任務を付与し、自衛隊員をまさに殺し殺される重大事態に直面させ、さらに「自民党改憲草案」を元に憲法の明文改悪をすすめています。在沖米軍基地の暴力的な建設の強行や、「緊急事態（戒厳令）条項」の創設、共謀罪の新設など、あらゆる分野にわたって戦争する国づくりに進もうとしています。
2. 安倍政治に終止符を打ち、政権を変えるしかありません。今やもう、私たちや自衛隊員の「いのち・くらし・平和」を守り、安全保障関連法（戦争法）を廃止し、憲法に基づく政治（立憲主義）を回復させるためには、安倍政治に終止符を打ち、政権を変えるしかありません。
3. では政治を変えるためにはどうすればいいのでしょうか？
いまの選挙制度のもとでは、野党がバラバラで選挙をたたかっていたのでは、たとえ多くの国民が憲法を支持し、安全保障関連法（戦争法）の廃止を願っていても、その声が政治に反映されません。しかしながら、野党が共闘すれば多くの選挙区で勝利できることは参院選の結果が示しています。
4. 「市民と野党」が共同して統一候補を実現させよう
きたる総選挙は、定数475のうち295が1人区である小選挙区でたたくられます。この選挙で勝利するためには、私たちが、それぞれの支持政党、政策のちがいをいったん脇に置いて、個人の尊厳を擁護する政治の実現へ、いまこそ安全保障関連法（戦争法）の廃止と立憲主義の回復を求めて、「市民と野党」が共同して統一候補を実現させる必要があるのではないのでしょうか。
5. 私たち市民一人ひとり政治の主権者です。
選挙を政党まかせにせず、私たち市民こそが主役となって政党と一緒に「共鳴」して選挙に取り組むこと——これこそが政治を変えるもっとも大事な取り組みであると考えます。
6. 私たち「泉州市民連合」（準備会）は今こそ市民の皆さんによびかけます。
支持政党や考えの違いを超えて大阪18区、19区での野党統一候補を実現し、総選挙で必ず勝利し、戦争への流れを食い止めようではありませんか。

2016年11月 泉州市民連合



かけ人の岡歩美さん（元SEALDs TOKAI）は、自民党が重点選挙区に位置付けた参議院三重県選挙区で激戦を制した経験を報告。困難は多かったものの、政党や市民と信頼関係を築き、市民が参加した新しい選挙をつくったことを紹介しました。
約220人の参加者は、きたる総選挙での野党共闘の実現と勝利で戦争への流れを食い止めようと規定した上記のアピールを採択しました。

来年度予算に関する 各地教委交渉

高石	11月22日 (火)	18:00
和泉	12月 6日 (火)	18:30
忠岡	12月 9日 (金)	18:00

生活と権利を守るため、講師の方も泉北教組に加入してください。組合費は月千円です。